

多言語多文化選抜 推薦書（市町長・医療機関長用）記入要領

1 出願要件を確認し、口にし点でチェックをしてください。

「日常会話ができること」について

例 1) 自宅での会話において日本語以外の母語を使用することがある

例 2) 日本語以外の母語を使用する知人・友人との会話は、母語で行っている、または行うことができる

2 被推薦者の人物評価

貴市町、貴院の保健・医療・福祉分野における看護実践や保健活動に深い関心を持ち、貴市町、貴院の保健・医療・福祉分野の行政を推進する担い手となりえる意欲と能力があることを推薦理由として記入してください。

3 多言語の能力を有する、または多文化に通じている看護系職員の必要性

貴市町、貴院における現状や問題点などを踏まえて記入してください。

「看護系職員」とは、地方公務員法第 3 条第 2 項に規定する一般職に属する職員のうち、非常勤職員及び臨時職員を除く、看護師、保健師あるいは助産師の資格を必要とする職種の者。

4 卒業後、被推薦者に対して貴市町、貴院が活躍を期待する分野

卒業後に活躍を期待する職種や分野について記入してください。

5 在学期間中、被推薦者に対する貴市町、貴院の支援施策・計画

夏休み期間における研修の実施、職員等との懇談会の開催、修学資金の貸し付けなどの計画について記入してください。